



- 一、しっかり学ぶ 錦の子
- 一、よりよく生かす 錦の子
- 一、なかよく生きる 錦の子
- 一、元気でがんばる 錦の子

## 授業参観・保護者会（2回目）

9月6日（水）5時間目に授業参観を行いました。たくさんの保護者の皆様が最後まで熱心にご参観くださり感謝いたします。その後の保護者会では、学習状況や学校生活の様子、今後の学校行事等についての説明に対し、貴重なご意見をいただきありがとうございました。



## 避難訓練（竜巻対応）

9月8日（金）2校時目に竜巻を想定した避難訓練を実施しました。この日は、台風13号が関東に接近しており、短縮日課としましたが訓練は予定通り行いました。竜巻が発生した際の心構えや行動について、担任が説明をした後、児童は机の下に避難し、身を守る訓練を行いました。最後は、各自訓練についての振り返りをしました。

## 演劇鑑賞教室（全校生）

9月12日（火）、劇団歌舞人の皆様による演劇鑑賞教室を実施しました。内容は「アラジンと魔法のランプ」です。1, 2校時目は偶数学年, 3, 4校時目は奇数学年と2回の公演です。コロナ禍の影響で、現在の全校児童にとっては初めての演劇鑑賞教室となりました。歌と踊りと不思議いっばいのアラビアンライトを体感することができ、児童も大満足でした。劇団の皆様、大変お世話になりました。



## 読み語りボランティア

9月13日（水）、8名のかたりいずの皆様にご協力をいただき、今年度3回目の読み語りを行いました。児童は皆、目を輝かせながら真剣に聞いていました。

◇最新の情報は、本校のホームページでご確認ください◇



# 第1学期終業式・表彰式

学年・組	氏名
1-1	飯島 優月
1-2	倉山 えみり
2-1	福田 華子
2-2	矢口 菜実子
3-1	橋本 愛梨
3-2	高堀 風花
4-1	山本 龍輝
4-2	前島 光佑
5-1	茂谷 優花
5-2	久木田 明琳
6-1	須田 真麻
6-2	上野 真優花



10月6日（金）、体育館で1学期終業式を行いました。児童には、「学校で学ぶよさ」について4つの話をしました。作文発表では、君島 瑠夏さん（1年）、完山 瑛季さん（3年）久木田 明琳さん（5年）の3名が児童を代表して、「1学期にがんばったこと」を立派に述べることができました。終業式後の表彰式では、各学年2名が「宮っ子心の教育」教育長奨励賞を受賞しました。受賞した児童は、右のとおりです。



## 錦地区体育祭

10月8日（日）、本校の校庭にて、錦地区体育祭が5年ぶりに行われました。当日は、宇都宮市長もお見えになり、地域の皆様にご挨拶されました。各育成会の代表で出場した小学生もそれぞれの種目で大活躍するなど、盛大に行われた体育祭は成功裏に終わりました。

# 第2学期始業式

10月12日（木）、体育館で2学期の始業式を行いました。久しぶりに登校した児童は、みんな元気に笑顔で始業式を迎えることができました。児童を代表して、清水 奏さん（2年）、枝 遥香さん（4年）、菅谷 翠さん（6年）の3名が、「2学期にがんばりたいこと」と題し、それぞれの目標や抱負を力強く発表しました。



## 『見守り』～山田洋次監督～ 映画（たそがれ清兵衛）

山田洋次監督は、「男はつらいよ」「武士の一分」「おとうと」など多くの作品を世に送り出している日本を代表する映画監督です。最近では、「こんにちは、母さん」が大ヒットしています。そんな監督作品の中で、2002年に上映され、第76回米アカデミー賞外国語映画賞にノミネートされた作品が、「たそがれ清兵衛」です。



山田洋次監督は、映画のインタビューの中で次のようなことを言っていました。「清兵衛は、『たそがれ』というあだ名で呼ばれ、仕事が終われば酒に付き合うわけでもなく、まっすぐ家路に着く。つまらない男だと周りからは見られている。しかし、清兵衛はその生活に不満をもっているわけではない。自分にとって大切なのは子供たちを愛すること。子供たちのために仕事をし、薪割りに励み、ご飯をたべさせること。決して恵まれているわけではないが、清兵衛にとって不満足な生活ではないと思っている。」「映画の中の食事のシーンでは、食事をしながらの会話がほとんどない。これは、清兵衛が無口だからではなく、親の役割は子供をじっと見守ることだと思っているのである。親が子をコントロールしようとするなどのもつての外。子供が迷ったり傷ついたりした時に手を差し伸べればいい。何を言うまでもなく、いつも子供たちの姿をじっと見つめている。それが最高の愛情表現と思っているのである。」

この監督の言葉から、現在の生活を振り返った時、子供たちへの愛情の注ぎ方についていろいろと考えさせられます。学校でも家庭でも、子供を見守るためには、大人が心にゆとりをもち、子供の心にしっかりと向き合い、子供の心の声に耳を傾けていくことが何より大切です。もう一度子育てを見つめ直し、子供の姿をじっと見守っていく努力をしていきたいものです。なお、「見守る」ためのポイントは、過干渉をやめること、子供の力を信じることで、学校や勉強のことは極力言わず、信頼のエネルギーを注ぐこととされています。